

よりよい
公的広報を
めざして

考えてみよう！

男女共同参画の視点からの

表現ガイドライン



令和3年12月

鳩山町

1 はじめに

本町では、鳩山町男女共同参画計画において男女の人権が平等に尊重され、男女が性別に関わりなくその個性と能力を十分発揮し、責任を分かち合いながら多様な生き方を選択することができる男女共同参画社会を実現することが最重要課題であるとしています。

平成 22 年度に「男女共同参画の視点からの公的広報の表現に関するガイドライン」を作成しておりますが、社会情勢の変化を鑑み、この度新版として再作成いたしました。この「考えてみよう！ 男女共同参画の視点からの表現ガイドライン」が町内の広報において活用されるにとどまらず、町民、事業者等の方々にも広く参考としていただけることを願っています。

本ガイドラインの趣旨

本町は、様々な公共性の高い情報を多様な方法により発信しております。その情報の発信次第では、受け手に固定的な性別役割分担意識を植え付けてしまう可能性があります。

このガイドラインは、特定の表現を禁じたり、言い換えを強制したり、皆様の表現を統制することを目的とはしておりませんが、どのような表現が問題になりやすいか、より良い表現をするにはどうしたら良いかを考えるきっかけや手がかりを提供することを目的としています。

ガイドラインの対象

このガイドラインは、本町が発信する広報紙、ポスター、パンフレット、ホームページ等各種広報媒体における文章、イラスト、写真、音声、映像等全ての情報が対象です。本ガイドラインをご覧の皆様も、会話をする時や会議資料等を作成する時に是非参考としてください。

2

考えてみよう その表現

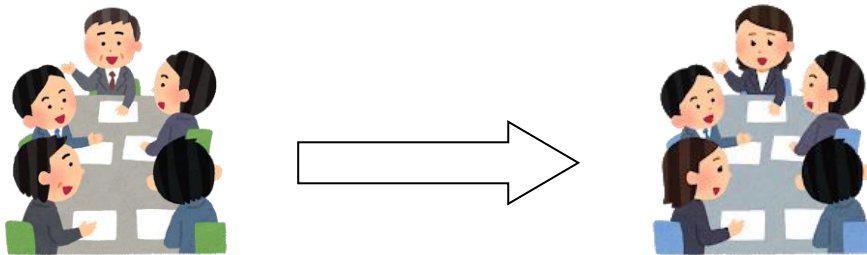
男女のいずれかを排除したり 偏ったりしていませんか？

1 女性にも男性にも伝わりますか？

男女いずれにも関係する内容であるのに、いずれかの性別に偏った表現になっていませんか？

すべての人へ平等に情報が伝わるように、男女両方を想定した表現をしましょう。

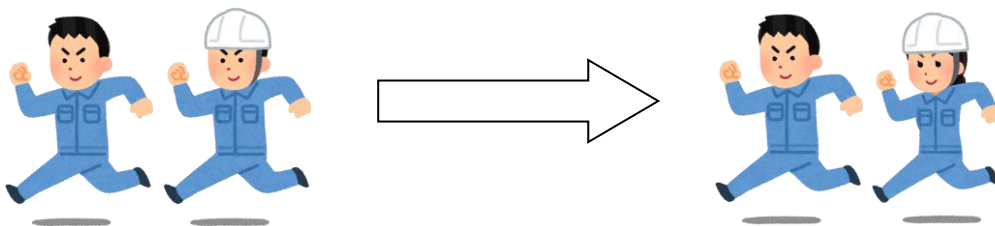
職業や職場についても男性中心によるものではなく、男女が共に参画し対等な関係で働くことを基本とした表現になるよう工夫しましょう。



2 イラスト等には男女がバランスよく登場していますか？

広報物の内容が男女双方に関わる場合、登場する男女のバランスにも配慮し、いずれかに片寄らないよう心がけましょう。

私たちは、無意識なイメージだけで男女どちらかに片寄るイラストを使いがちですが、多様性を受け入れられるよう、広報物から変えていきましょう。



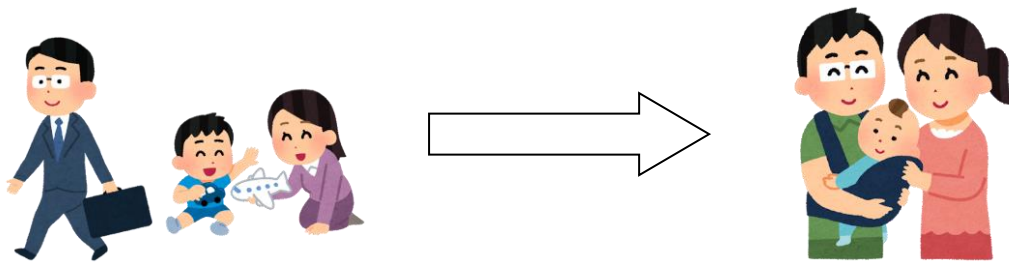
性別によってイメージを固定化していませんか？

1 男女を固定的に描いていませんか？

「男は仕事、女は家庭」など、性別によって役割を無意識に決めつけていないでしょうか？

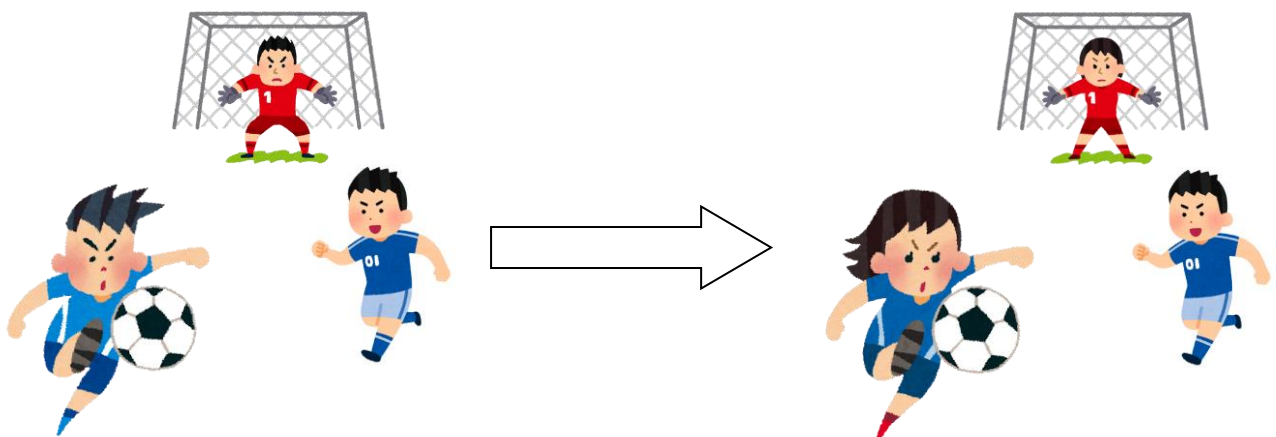
家事や育児は誰が行うものと決めつけるのではなく、全員が率先して行うものです。現在では、様々な分野で活躍する女性も多く、家事・育児等を担う男性も多くいます。

男女が協力したり、様々な職業に就いたりしている現実を反映した多様な表現を心がけましょう。



2 性別で服装や外見、興味・関心が固定化されていませんか？

好みや趣味嗜好は人それぞれです。男女それぞれを幅広いイメージで表現しましょう。

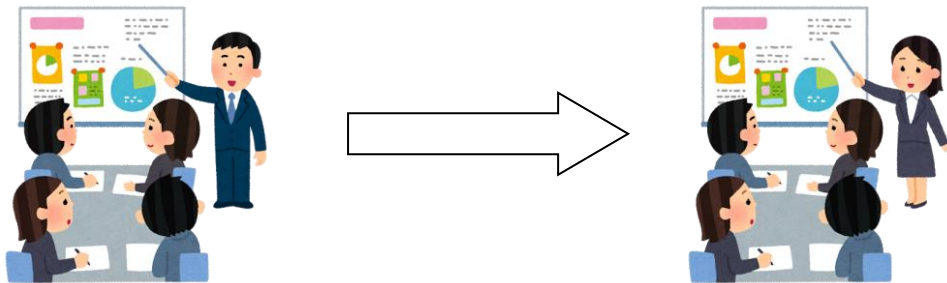


男女を対等な表現で描いていますか？

1 中心となる人物は男女対等になっていますか？

男性は常に中心的な存在、指導者的な立場、守る側として、女性を周辺の存在、従属者的な立場、守られる側として描いていませんか？

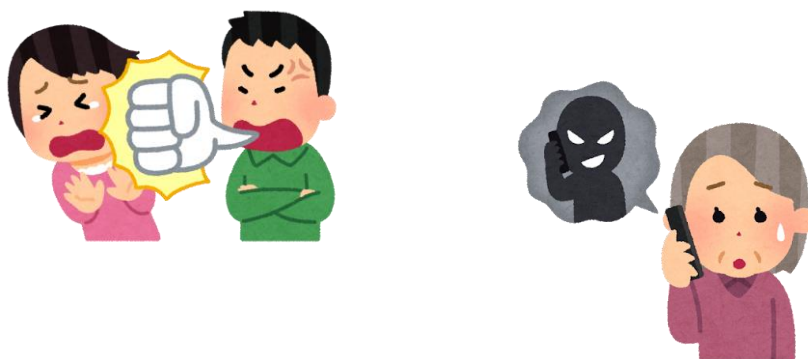
多様性を認め合う時代においては、地位や立場も様々であることを示す表現を心がけましょう。



2 「男性が加害者、女性が被害者」というイメージの表現をしていませんか？

常に加害者を男性、被害者を女性で表していませんか？

内容に応じた表現をしましょう。



男女で異なる表現を使っていませんか？

1 「女性」を強調させる必要はありますか？

職業や地位に触れるときに、女性の場合だけ性別を冠するのは、女性を例外的、特殊だという印象を与えてしまいます。

よく見かける表現	望ましい表現
女流作家	作家
女医	医師
女社長	社長
女子アナ	アナウンサー

「男流作家」「男医」という言葉はありません。上記の他にも、性別を入れ替えると意味が通じない表現は、性別を強調したり特別視したりすることで性別の意識の助長につながることもあるので注意が必要です。

内容とは無関係に、露出度の高い女性や必要以上に女性の身体の全部または一部を強調し、人の目を引くためだけに、アイキャッチャーとして女性を安易に掲載していませんか？
掲載する場合には伝えたい内容がより効果的に伝わるかを熟慮し、誰から見ても違和感・疎外感がない表現になっているか確認しましょう。

CHECK

2 性別に特有な表現は必要でしょうか。

「男勝り」「女だてらに」「男泣き」「女々しい」等、特定の性別に対して使われる表現や、性別のイメージで個人の特性を決めつけるような表現は控えましょう。男女いずれに対して使用しても違和感のない言葉を工夫しましょう。

3 男女の呼称の区別は必要ですか？

男性を姓で「〇〇くん」と示す一方で、女性を名前で「〇〇さん」「〇〇ちゃん」と示すことがあります。

同じ文章で男女の呼称・敬称を区別する場合には、その必要性を考えましょう。

3

言葉を見直しましょう

日常に使われる表現の中には、女性を例外的な存在とし、平等に扱っていないような表現がみられます。

性別の固定的なイメージにしばられない豊かな言葉・表現を考えましょう。

見直したい表現	望ましい表現
主人・奥さん・ 家内・亭主	夫・妻・連れ合い 配偶者・パートナーなど
嫁（婿）入り	結婚する
婦人・婦女	女性
父兄	保護者
女流〇〇・女子〇〇	「女流」・「女子」を外す
OL・サラリーマン	会社員
OB・OG	卒業生
看護婦	看護師
カメラマン、キーマン、 フレッシュマンなど「〇〇マン」など、 男性を彷彿させる表現	写真家、キーパーソン、新人
合格者〇人（うち女性〇人）	合格者〇人 （男（女）性〇人、女（男）性〇人）

上記の他にも様々な見直したい表現があります。

使いたい表現が適切かどうか曖昧なときは、複数の人で確認してみてください。

4

表現チェックシート

印刷する前に、もう一度確認してみましょう。

担当者をはじめ、複数の方でチェックしましょう。

チェック項目		チェック欄
1	男女いずれかに偏ったイメージになっていませんか？	
2	男性・女性で役割を決めつけていませんか？ (家事・育児・介護等)	
3	性別によって固定的なイメージになっていませんか？ (趣味嗜好、服装、興味、関心、)	
4	男女を対等なイメージで描いていますか？ (男性ばかりが中心人物、主従・上下関係、強弱関係など)	
5	男女で異なる表現を使っていますか？ (女流〇〇、女子〇〇等)	
6	目を引くだけの表現になっていませんか？ (アイキャッチャーとして女性を掲載していませんか)	
7	伝えたい内容が、誰が見ても分かりやすく、 違和感・疎外感のない表現になっていますか？	

5

よくある質問 ～ Q&A ～

Q1 どうしても、男女に偏りが出る場面はあるし、表現を規制することは「表現の自由」に反するのではないですか？

このガイドラインは、皆様の表現について規制するものではありません。このガイドラインは、なぜその表現が問題となっているのか、どうすれば良い表現になるのかを考えていただくきっかけや手がかりを目的として作成しました。

Q2 必ず女性と男性を表現しなくてはなりませんか？

各種広報媒体を作成する際の目的に沿って臨機応変に対応してください。何を、誰に、何を強調して伝えたいかを男女共同参画の視点に立って検討してみてください。

Q3 慣例的に使っていた表現のように以前からある言葉は使ってはいけないのですか？

偏った性別を使用した情報の発信は、時として受け手に固定的な性別役割分担意識を植え付けてしまう可能性があります。また、性の在り方は多様性であり、人それぞれの人権や個性を尊重することが大切です。男女共同参画社会の実現の妨げになる表現や習慣を変えてみてはいかがでしょうか。

6 鳩山町男女共同参画計画について

鳩山町では、平成 15 年度に「鳩山町男女共同参画計画」を策定し、男女共同参画のための各種施策について総合的・計画的に取り組んでいます。

本計画は平成 15 年度に 5 年間で計画期間として策定し、これまでに 3 度改定を行い、男女共同参画の実現に向けて一層の施策の推進を図ってきました。

基本理念を「女と男（ひととひと）ともに尊重し合い 互いに手を取り 自分らしく生きられる社会の確立をめざして」とし、6 つの基本目標と 15 の主要課題に基づき、45 の主要施策を展開しております。

<「鳩山町男女共同参画計画」の基本目標>

基本目標 1 人権の尊重と男女平等の意識づくり

基本目標 2 あらゆる分野への男女共同参画の推進

基本目標 3 就労における男女平等の推進

基本目標 4 少子・高齢化時代における生活環境の整備促進

基本目標 5 配偶者等からの暴力の根絶

基本目標 6 計画推進のための体制づくり

